

新型コロナウイルスのオミクロン型の派生型「BA.5」感染拡大抑制に努めましょう。

最近の状況

1週間当たりの新規感染者数は日本が、およそ97万人と世界で最も多くなっていることを受け、政府は新たな対策を表明し、都道府県が「BA.5対策強化宣言」を出し、独自に住民や企業に感染拡大の抑制に協力を求めることができることとなりました。

7月準定例会を開催しました

2022年7月21日（木）に、Zoomによる準定例会を開催。今回は、「中小分散型上下水道事業」について取り上げ、参加者は13名でした。山口岳夫さんより「小規模水供給システムの持続可能な維持管理に関する統合的研究」の成果をもとに、パート1とパート2（中小分散型水道事例の分類整理と分類ごとの対応）に分けて説明。詳細は、水道公論9月号に掲載されます。

水道公論8月号の内容

「海外水ビジネスの要点」シリーズでは朝山由美子氏（JWF）から「第4回アジア・太平洋水サミット（APWS）の開催報告」を、コラム「海外ビジネスの眼」では「第4回アジア・太平洋水サミット・熊本水イニシアティブのゆくえは？」を掲載。

定例会・幹事会の開催について

- ZOOM幹事会は、8月12日（金）20時から。8月、9月定例会の開催内容の確認や今後の予定についての説明・相談、テーマ解説等を予定。
- 8月17日（水）（12時半から14時半）は、zoomで拡大定例会を開催。（詳細は次項参照）
- 9月13日（火）は、水道会館会議室(zoom併用)に於いて気候変動技術の2回目(気候変動問題—調整力とグリーン水素)を開催します、時間は12時半から14時半、講師は今井茂樹さんです。第2週火曜日です。



アスター

8月の定例会について

- 8月の定例会は、コロナ感染者数の急増に伴い、対面開催の予定をzoom開催に変更し、**8月17日（水）12時半から14時半にします。**研究会メンバーでもある安間匡明氏（土木学会インフラファイナンス研究小委員会委員長）から「官民連携（PPP）における有限責任性に関する研究」についての説明を伺います。同論文により安間氏は本年、東京大学工学系（社会基盤学および建築）から博士（工学）の学位を授与されています。
- この論文は、PFI/PPPの契約設計に関する研究であり、今後に向けて上下水道界で注目を集めている民間委託や公民連携にも深く関係するものと思われるので、外部の方々にもご案内をさせていただいています。
- 水道公論10月号では、安間氏が公論交差点に8月定例会の内容を紹介、工藤氏が要点を探るに「PPPの基本」を執筆。

水道公論コラム原稿を募集しています

字数は1500から1600字、「である調」、ペンネーム（実名は出さず）で原稿を募集しています。連絡は山村まで。